豊かで充実した老後を
漁業者年金
一人とりは万人のために、万人はひとりのために

たくみ

10月号　No.349
一部　10円
（会員の購読料は指導事業経費より支払されています）

発行所　兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL　681-6954～7
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会

昭和六〇年度 のり養殖技術研修会を開催

収益ある高品質製品の生産がカギ

兵庫のりの製品向上と経営安定をめざす、昭和60年度のり養殖技術研修会が兵庫県、兵庫県漁連の主催により九月六日～七日の両日神戸市「ニューポートホテル」で開催され、県下のり生産者、関係役職員一一〇名が参加し、良いのり、うまいのり作りの研修を行いました。昨今の、のり養殖経営は、変化する漁場環境と、下物製品の急増等により、共倒れを紹くなどたいへんきびしい状態となっています。このため、兵庫県と、兵庫県漁連では、前月号に紹介した「兵庫県のり研究所」の建設など高品質製品生産による、経営の改善をめざすとともに、生産者自らが技術を研究できるよう養殖技術についても第一線で活躍されている講師を紹き毎年研修会を開催しています。本年は次の先生方を講師として招き研修会を修了いたしました。

「良いのり作りの養殖技術」
岡山水試、片山勝介氏
「漁場の価値」
兵庫水試、真鍋武彦氏
「病害対策」
兵庫水試　山内幸児氏
「のり養殖の将来性」
山本のり研究所　大房　剛氏
「うまいのり作り」
三重大学　野田宏行氏

なお本年度の漁況として水温は9月上旬から中旬まで平年より1・5℃～0・5℃と高く経過していましたが下旬に入り順調な下降をたどり、やや高いものの、ほぼ平年並となってきています。

栄養塩についてもほぼ順調に推移される見込みとなっています。

しかし、長期予報によると10月前半は比較的温暖な天候が予想されており、育苗管理は慎重に行う必要があります。

兵庫県漁場環境保全講習会

「かけがいのない豊かな海を守る」を合言葉に

9月20日（金）兵庫県、兵庫県漁連、（社）瀬戸内海環境保全協会主催による兵庫県漁場環境保全講習会が、舞子ビラにおいて、約80名の関係者を集めて開催された。

昭和49年以来開かれてきたこの講習会によって県下漁業関係者の漁場環境保全に対する意識・知識は大きく向上してきたが、今回の講習会では県下の漁場環境だけにとらわれず、日進月歩するバイオテクノロジーにも目を向け大きな視野で漁業やその環境をとらえた講習会となった。

兵庫県満尾水産課長ならびに（社）瀬戸内海環境保全協会吉岡常務のごあいさつのあと講義にうつった。

まず初めに、関西学院大学文学部教授大島襄二氏に「海に生きる人々」と題して漁業の歴史、また、オーストラリア大陸とパプアニューギニアを結ぶトレス海峡での海に生きる人々が、海に、そして海の資源に対してどう考えているのかをスライドをまじえながら講演いただいた。中でも〝海の資源は皆のもの、先祖が残してくれた資源は子々孫々にまで残すものだ〟という思想には心を打たれた。

次に神戸山手女子短大教授、斉藤行正氏に「環境をめぐる諸問題」と題して、潮の満引きや風の発生原因について講義いただいた。

最後に（社）農林水産技術情報協会研究顧問、川井一之氏に「今後の日本農林水産業と先端技術」と題して、バイオテクノロジーを中心とした先端技術の現状と特徴について講義いただいた。我々一次産業が今なお自然環境と戦い、調和し、営んでいる中、生産の場を自然から切りはなすバイオテクノロジーの考え方、また、それとは対称的に自然生産力を大切にするトレス海峡に住む人々の考え方など、我々にさまざまな問題を提起して講習会は閉会しました。

〝海と魚を守る〟

シンボルマークと標語を募る!!

このたび、県漁青連が中心となって、漁場環境の保全と資源の保護を広く呼びかけるため、ステッカーを作成し、県下の全漁船におくばりすることとなりました。

そこで、皆様からこのステッカーのシンボルマークと標語を下記のとおり募集しますので、趣旨を充分にご理解の上、多数の方々のご協力をお願いいたします。

なお、採用されました方には、金一封と応募者全員にステキな記念品を準備していますのでふるって応募下さい。

記

一、応募方法
(ア)内容
シンボルマーク（色を明確に）と標語
(イ)用紙
ハガキにて
(ウ)〆切日
11月20日（水）まで
(エ)送り先
兵庫県漁連指導部、県漁青連事務局あて
〒652 神戸市兵庫区中之島2の2の1、水産会館内（TEL 078-652-3424）

二、審査基準
漁場保全と資源保護をわかりやすく表現しステッカーの図案、標語に適していること。

三、賞
シンボルマーク及び標語のそれぞれの作品に対して
最優秀賞（各一名）
金　二万円
佳作賞（各二名）
金　一万円
参加賞
ステキな記念品

四、発表
12月号拓水で発表します。

中国地区漁連会長会議開催

山口、島根、鳥取、広島、岡山、兵庫、の漁連会長で組織されている、中国地区漁連会長会（会長山田岸松兵庫県漁連会長）は九月十九日、神戸市有馬町で定例会議を開催しました。当地域は内海と日本海という漁場の相違があるものの、共通する諸問題について意見交換し、効果的に解決するとともに隣県の親睦を深めるため、会長、および専務、参事会議を開催しています。本年度は兵庫県での開催地、幹事の当番でもあり、座長には、山田兵庫県漁連会長が選任され、事業報告、事業計画を可決決定の後、青、兵庫県専務理事から広島市で開催した専務参事会議の報告を受けた後、当面する問題として、全漁連事業および日本海における韓国漁船の不法操業について活発な意見交換がされ、各県での栽培漁業のとりくみについては次回にもち越すことになりました。

中国地区漁連会長会

近畿地方 3か月予報（10、11、12月）

大阪管区気象台発表

秋は天気が周期的に変わり、暖かい日が多い見込みです。冬の訪れはやや遅いでしょう。

10月　天気は周期的に変わり、暖かい日が多いでしょう。月末には、冷え込む日がある見込みです。

11月　晴天の日が多いでしょう。後半には一時季節風が強まる見込みです。

12月　中頃までは暖かい日が多いでしょう。月末には季節風が強まり、日本海側では雪が降りやすい見込みです。

漁業無線の今後について

わが国の漁業無線は船舶の航行安全を確保し、人命・財貨の保全を図り、更に操業効率の向上を図るという目的を持っています。そして各種情報の伝達・集収手段として利用され、漁業の発達と供に発展してきました。現在、厳しい漁業環境下にあって操業の効率化のために通信の重要性は増大してきており、より利便性の高い通信制度が求められています。

通信方法の在り方並びに改善点等が調査研究され、漁業無線の将来あるべき姿が検討されており、そこで漁業無線の当面の課題について若干ふれてみることにします。

。27MHz帯1WDSBのSSB化について

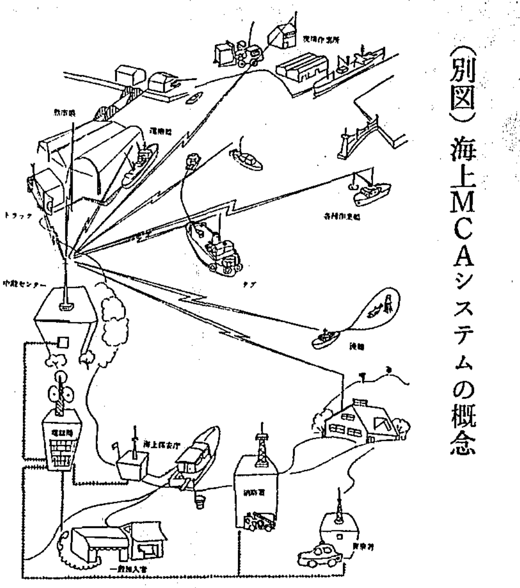
最近の高度情報化社会の動きは、当然漁業通信の分野にも波及し、国際的にも周波数の利用効率の向上が求められています。一九七九年の世界無線通信主管庁会議では、27MHz帯についても周波数の許容偏差を短波帯とほぼ同レベルの基準とする等の無線設備の技術改正が行なわれています。この改正を受け、国内法令を整備した結果、昭和65年1月1日以降、取替え又は新設に係る送信設備について、また昭和71年12月1日以降は全ての送信設備についてDSB方式をSSB方式に取替えることになりました。

SSB化に伴ない、データ通信、秘話通信、更には、海岸局を経由し自宅との直接通信を可能とする等の通信システムも考えられています。

。海上MCAシステムについて

郵政省は東京湾及びその周辺等、経済活動が活発な地域で、多様な情報を迅速、円滑、かつ直接に当事者間で通信可能とする海上MCAシステムの実現に努力しています。別図のように、中継センターを設置することによって、当事者間の直接通信を可能とし、又船舶等の無線機を使用する人の従事者資格を不要とする等の構想が持たれています。

以上2点の他、電波到達距離が延び、良解度の良い40MHz帯通信システムも実施されており、これらについては今後の漁業無線通信システムの大きな変革をもたらすことになります。



（別図）海上MCAシステムの概念

第二回淡路水交会長杯争奪

淡路地区漁協婦人部連合会 親睦バレーボール大会を開催

9月21日（土）、兵庫県立淡路勤労センターに於いて開催しました。第二回目を迎えた大会は12チームが参加、日頃の練習の成果を競い合った結果、みごと南淡漁協婦人部チームに勝利の男神？がついた。準優勝は、淡路町漁協婦人部Bチーム、三位、淡路町漁協婦人部Aチームであった。今回は、審判も各チームから出、交替で行うなど、初回より成長、チームワークがものを言う競技だけに、お互い呼吸が合わないと歯車がまわらないだけに、今後の練習と試合経験に期待したい。

優勝の南淡漁協チーム

兵庫JCC通信
今、農協・生協では

生活協同組合

全国の生協では、十月、十一月の二カ月を「生協強化月間」に位置づけ、さまざまな角度から生協運動を強化するための取り組みを展開しています。

「組合員の知恵と力を寄せ合い、生協を強め、平和とくらしを守りましょう」を基本スローガンに、兵庫県下の生協でも多彩な活動を行っていますが、今年はきびしい生協規制の動きのなかでの取り組みでもあり、特に灘神戸生協では地元選出国会議員や、商業者団体と組合員との懇談の機会をもつことも、重要な取り組みのひとつになっていることが特徴といえます。

そのほか大半の生協では、組合員新加入促進と増資活動に力を入れていますし、医療生協では尿チェック、血圧チェック、塩分チェックなどの保健予防活動を組合員家族ぐるみで取り組むよう呼びかけています。また灘神戸生協では、重点商品の普及や食事点検、生活文化活動や福祉活動の紹介を盛りこんだ「地域組合員まつり」も実施しています。

農業協同組合

去る九月九日から「全国農協財金ネットサービス」が完成、これで、農協のキャッシュカードを持っていれば、全国どこの農協でも財金の引き出し、預け入れができるようになりました。

このネットサービスは、昨年三月に二十三県都府県でスタート兵庫県もいち早くこれに参加してきましたが、当初の計画を半年くりあげてこの九月から全国もれなく網羅されました。民間金融機関では最大のネットワークシステムで、組合員はじめの利用者の利便性は一層向上することとになりました。さらには将来民間金融機関全体とのネットサービスに発展することも期待されています。

現在、全国四十七都道府県でこのシステムに参加しているのは三千九百二十八農協、一万四千百十四店舗で、郵便局とも肩を並べるシステムです。このサービスを利用するには農協のキャッシュカードが必要で、これをもっていれば全国の農協の現金自動支払機（CD）や現金自動入出金機（ATM）または窓口で貯金の出し入れができ、また残高照合もできます。

兵庫県では五十六年から県内農協のネットサービスを実施してきましたが、これが全国に拡がるわけです。現在県下には百二十五農協、四百九十九店舗があり、CDやATMなど窓口自動化機器もほとんどの農協で設置が完了しました。金融自由化の進展で課題の多いことですが、高度情報社会にむけて体制が整いつつある昨今です。

9月の海況と漁況　兵庫県立水産試験場

海況

（明石海峡周辺）旬平均水温は上旬26・9℃（平年差＋1・0℃）、中旬26・1℃（同＋1・0℃）、下旬24・9℃（同＋0・6℃）となっている。塩分もやや高目傾向が続いている。

（大阪湾・紀伊水道）9月18～19日の調査結果によると、大阪湾の表面水温は25・2～25・8℃で海域差は小さい。また表層と底層の水温差も0・5℃内外で小さい。紀伊水道の表層水温は25・7～26・2℃を示し、大阪湾よりも0・5℃程度高目である。

（播磨灘）9月2～3日に行った調査の結果によると、表層の水温は25・3～27・5℃の範囲にあり、北部で高く明石海峡周辺で低い分布を示す。底層との水温差は0・5℃以内となっている。表層塩分は31・01～32・08‰。

漁況

（小型底曳網）明石海峡周辺はメイタガレイの主漁場であるが、ここ数年は漁獲量の減少傾向がみられ、今年は特に新メイタが少い。ちなみに昭和55年の漁獲量は平均10kg（日・隻）を上回っていたが、今年は2分の1の5kgにとどまっている。また、マコガレイも今年は少く、昨年の約3分の1の3kg（日・隻）程度である。マダコも前月に続いて低調で、例年の約半分の5kg（日・隻）程度にとどまっている。

明石海峡・大阪湾北西部（淡路町）

漁業種類	隻	主魚種	1隻日平均 漁獲量（kg）	1隻日平均 価格（円）
小型底曳網	25	アナゴ	2～5	1,000～3,000
		マコガレイ	1～2	1,600～1,900
		エビ	10～20	1,900～2,200
		シヤコ	3～5	150～200
		ハモ	1～2	4,500～5,000
		タイ	5～6	4,500～9,000
船曳	31	シラス	500～750	80～360
吾智網	2	タイ	5～15	4,500～9,000
		スズキ	2～3	3,000～4,000
一本釣	25	メバル大	1～2	2,100～2,200
		〃小	1～2	1,700～1,800
		カサゴ大	2～3	3,800～4,000
		〃小	1～2	2,800～3,000
	20 曳縄及び浮釣	サワラ	10～20	1,080～1,100
		サゴシ	5～10	600～700
		ハマチ	2～5	1,400～1,600
		タチウオ	5～15	500～800
延縄	8	アナゴ	5～15	2,800～3,000
	3	キス	10～25	3,200～3,400
	4	マコガレイ	5～10	3,000～3,300
刺網	8	チヌ	3～4	1,100～1,600
		タナゴ	2～3	1,200～2,100
	5 キス建	キス	10～25	2,000～2,100
タコ壷	3	タコ	30～60	1,300～1,500

鳴門海峡・紀伊水道北部（福良）

漁業種類	隻	主魚種	1隻日平均 漁獲量（kg）	1隻日平均 価格（円）
小型底曳網	9 エビ漕	ヨシエビ	0.5	5,000
		中エビ	3	1,000
		小エビ	1	300
		ガザミ	3	1,500～3,000
		赤シタ	5	1,000～2,000
		その他	5	800
吾智網	4	カスゴ	50	1,040
		小ダイ	3	2,050
		サワラ	3	1,510
		サゴシ	5	450～1,100
		カワハギ	10	500
		ツバス	2	1,000
		タコ	2	1,130
一本釣	14	サワラ	5	1,350
		サゴシ	15	450～1,100
	90	タチウオ	50	660
	3	マアジ	5	1,150
		サゴシ	2	450
	15	ツバス	10	1,000
		ハマチ	2	1,000
	6	タコ	5～6	1,300
まき餌釣	3組	ツバス	50～180	1,050
		キジロ	3	1,000
		タイ	2	5,000
フグ縄		フグ	10	4,500～9,000
刺網	12	カサゴ	10	500
		タナゴ	20	1,000
		ヒラメ	1	5,000

生活改善通信
健康管理と食生活の見直し

明石市内には五つの漁協があり、婦人部員は六二二人です。各漁協ごとに活動状況も少しずつ異なっております。明石農業改良普及所では、漁業従事者の健康管理意識を高めることを重点課題として取り組んでいます。

江井島漁協婦人部では、「私達は健康だと思っている時こそ自分の健康状態を知ることが重要である」「身体の状態によって日常生活の仕方、働き方、作業環境などを考え、工夫していくことが大切である」を合い言葉に、本年度初めて健康診断を実施することになりました。

当初は、全額自己負担で受診する予定でありましたが、漁協から一部の助成がありました。来年度からは「健康貯金をしてこれに当てようか……」との話も出ています。

受診者は、婦人部員五十人中三十三人、経営主十三人、計四十六人でした。この結果は、血圧の高い人二十六％（うち男四十六％）肥満二十八％、貧血四％、胸部レントゲン異常所見七％、白血球数の多い人九％となっています。中でも要精検者六名、要医療二名となっています。これからみると、夏の検診であったにもかかわらず、血圧の高い人が多いということです。血圧は一日のうちでも上り下りすることがありますが、全般的に最低血圧が高く、特に九〇mmHg以上の上が男性に多かったという結果でした。

これらの家庭の主婦を対象に食生活の実態を聞いてみると、日常食の中で、塩辛い物が好きで、魚肉類に片寄っていたり、野菜嫌いの人が多いことが分りました。

また、本人が野菜嫌いというよりも、食卓に野菜の出される量が少ない家庭も多いようでした。

そこで、一番手近な予防策として「食生活を見なおそう」ということで、薄味で野菜をたっぷり使った減塩料理の作り方などを講習し、家庭料理を少しでも薄味にするよう話し合い、また、野菜の中でも緑黄色野菜をもっと取り入れ、魚料理などとうまく取り合わせる方法など、診断結果に基づいた健康教室を開設しております。

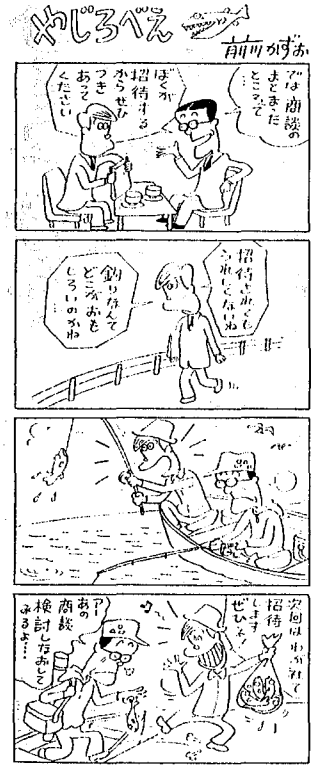
このほかの活動として、西二見漁協婦人部では、食品に対する新しい知識を身につけようと、コピー食品の見分け方などを他漁協婦人部のリーダーと一緒に研究しています。また、海産物を使って手づくり加工品をグループで工夫し、食卓をにぎわせています。

東二見、明石浦では移動農業改良普及所を利用して、減塩料理やスライドで野菜の上手な食べ方などの学習をしながら、健康診断実施への健康管理意識を高めつつあります。

林崎の婦人部では二ケ月に一度、コミュニティーセンターを利用して、料理実習をし、いわし、さばなど大衆魚のおいしい食べ方や野菜料理などを学習しながら、健康を守る食事づくりの研究をし、健康管理意識を高めることにつとめています。

明石農業改良普及所

コピー食品研究会



「第5回全国豊かな海づくり大会」
北海道オホーツクサロマ湖において開催

「ふるさとに根づく心で海づくり」をテーマとして、去る九月九日、第5回全国豊かな海づくり大会が北海道オホーツクサロマ湖畔の湧別町登栄床漁港に皇太子殿下同妃殿下をお迎えし、全国各地から漁業関係者代表、地元関係者代表ら約六千五百人が参加して盛大に開催された。

本県からは、深井辰三農林水産部長ら県関係七名を含め、山田岸松県漁連会長以下各系統団体の役職員総勢六十三名が本大会に参加した。

式典はまず、亀長大会推進委員会顧問（大日本水産会会長）の開会宣言で始まり、参加者全員起立のもと国歌を斉唱、坂田大会会長（衆院議長）並びに横路北海道知事の挨拶のあと、地元三町実行委員会を代表して、船木佐呂間町長が歓迎の言葉を述べられた。

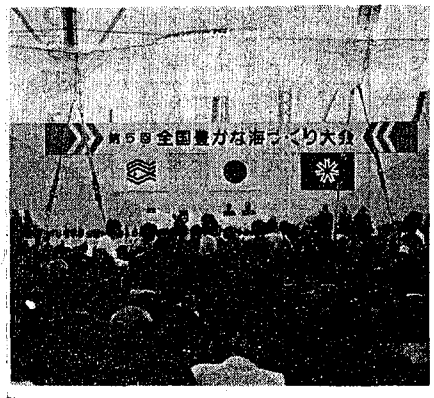
このあと、皇太子殿下が「今大会のテーマ〝ふるさとに根づく心で海づくり〟の気持ちで皆さんをはじめ多くの国民がそれぞれの地域の海を大切にし、海を豊かにするよう努力されることを切に願うものであります」（前文省略）とお言葉をお述べになられた。

引続いて、佐藤農林水産大臣、河本北海道開発庁長官、吉田北海道議会議長がそれぞれ祝辞を述べたあと、栽培漁業功績者に対して表彰がおこなわれ、北海道佐呂間町立富武士小六年船木大輔君が最優秀作文に選ばれた「浜で働くお父さん」を朗読しました。

次いで、漁業後継者を代表して、常呂町石垣由美子さん、佐呂間町船木康徳君、湧別町斉藤英則君の三人が、力強い誓いの言葉を述べた。

最後に、宮原大会推進委員会会長（全漁連会長）が大会決議を読み上げ、大きな拍手でもって満場一致で採択され、来年度の開催県である中川福井県知事に横路北海道知事から、大会旗が引き継がれた。

その後の放流行事には、皇太子殿下同妃殿下もお召艆船にご乗船になり、サクラマス、ニシン、ホッカイエビなどの種苗をご放流になられ、同時に各県代表者による放流も行なわれ、全ての行事を終了した。



どう変る年金制度
農林年金法の一部改正法案（3）—2

4・資格期間等の経過措置

(1) これまでに述べた退職共済年金の受給資格期間および期間が次のとおり農林年金相当部分の額となる二十五年は、その者の生年月日に応じ、それぞれの年数以上あればよいことになっています。（表A）

表A

	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年
昭和27年4月1日以前に生まれた者（施行日に三十四歳以上の者）					
昭和27年4月2日から昭和28年4月1日までの間に生まれた者（施行日に二十三歳）					
昭和28年4月2日から昭和29年4月1日までの間に生まれた者			〃 三十二歳		
昭和29年4月2日から昭和30年4月1日までの間に生まれた者				〃 三十一歳	
昭和30年4月2日から昭和31年4月1日までの間に生まれた者					〃 三十歳

(2) 退職共済年金の額の計算の支給乗率については、次表のようにその者の生年月日に応じ、千分の七・五は千分の十から一歳きざみで逓減し、千分の一・五は千分の〇・五から、千分の〇・七五は千分の〇・二五からそれぞれ逓増することとなっています。（表B）

表B

	千分の十	千分の〇・五	千分の〇・二五
昭和2年4月1日以前に生まれた者			
昭和2年4月2日から昭和3年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・八六	千分の〇・五八	千分の〇・二九
昭和3年4月2日から昭和4年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・七二	千分の〇・五六	千分の〇・二三
昭和4年4月2日から昭和5年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・五八	千分の〇・七三	千分の〇・三七
昭和5年4月2日から昭和6年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・四四	千分の〇・八〇	千分の〇・四〇
昭和6年4月2日から昭和7年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・三〇	千分の〇・八六	千分の〇・四三
昭和7年4月2日から昭和8年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・一七	千分の〇・九二	千分の〇・四六
昭和8年4月2日から昭和9年4月1日までの間に生まれた者	千分の九・〇四	千分の〇・九八	千分の〇・四九
昭和9年4月2日から昭和10年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・九一	千分の〇・九三	千分の〇・五二
昭和10年4月2日から昭和11年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・七九	千分の〇・九〇	千分の〇・五五
昭和11年4月2日から昭和12年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・六六	千分の〇・八三	千分の〇・五七
昭和12年4月2日から昭和13年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・五四	千分の〇・八〇	千分の〇・五九
昭和13年4月2日から昭和14年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・四一	千分の〇・七六	千分の〇・六一
昭和14年4月2日から昭和15年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・二九	千分の〇・七二	千分の〇・六四
昭和15年4月2日から昭和16年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・一六	千分の〇・六八	千分の〇・六五
昭和16年4月2日から昭和17年4月1日までの間に生まれた者	千分の八・〇四	千分の〇・六四	千分の〇・六七
昭和17年4月2日から昭和18年4月1日までの間に生まれた者	千分の七・九一	千分の〇・六〇	千分の〇・七〇
昭和18年4月2日から昭和19年4月1日までの間に生まれた者	千分の七・七八	千分の〇・五七	千分の〇・七三
昭和19年4月2日から昭和20年4月1日までの間に生まれた者	千分の七・六五	千分の〇・五四	千分の〇・七六
昭和20年4月2日から昭和21年4月1日までの間に生まれた者	千分の七・六一	千分の〇・五〇	千分の〇・七七

ひょうごけん水産人

兵庫県水産業改良普及協会

常務理事　田寺伸彦

▽健康管理の工夫は

健康管理の大切なことを人にはよく言うが、私自身は何もしていない。青少年時代（軍隊も含めて）充分体を鍛えてあるから、と思っている。

▽趣味・余暇の過し方

人間、趣味を持つことは大切なことと人にはよく言うが、私自身特に趣味と言える程のものはない。強いて言えば、ヘタな俳句と模型帆船作り。余暇は時々の一人旅が最高の過し方と思っている。

▽印象に残っていること

61才の男にとって印象に残ること、いろいろ忘れられない出来事は当然多くある。水産庁で兵庫にノリが出来るのかとバカにされながら、昭和33年赤穂ノリ人工採苗場、獲る漁業から作る漁業の掛け声と共に35年、福良ハマチ養殖場を設ける仕事をしたこともその一つ。

▽水産業改良普及協会運営の力点は

一にも二にも栽培漁業の推進と行きたい。

▽国県へ望むことは

人の力は借りない方が良い。

▽組合員への協力依頼

漁業権同様、沿岸水産資源を先祖から伝えられた事と、子孫に伝える事を決して忘れてはならない。水産資源の増殖と保護は漁業者にとって最重要。

▽職員に望むこと。

安全第一。も一つはチームプレイ。

▽信条、すきなことば

塞翁が馬、（さいおうが馬、中国の話でチャンスの後に、ピンチ。ピンチの後にチャンス。と言うような意味らしい。）

海区漁業調整委員会だより

九月二十四日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、二百海里漁業専管水域規制の適用について

昭和六十年度全漁調連通常総会で検討事項として提案されたが、全国的な問題として各海区の意見統一をみることができなかったので、各ブロック会議の共通議題として更に検討し、意見統一をもって取扱いの方向づけを決することになりました。

十月、京都市で開催される、日本海漁業調整委員会連絡協議会にこの案件が検討されるので、当海区委員会としても協議した結果、竹島の領有権問題等色々課題はあるが、この案件の実現を押し進めることになりました。

二、因但漁業調整協議会について

第十六回因但漁業調整協議会が開催され、因但大型漁礁は設置してより長年月を経ているので、利用面より鳥取、兵庫の両県で魚礁の補強実施の要望がなされ、また〃組織の見直し〃ということで因但漁業調整協議会規程の改正についても検討されることになった旨の概要報告がなされました。

三、ずわいがに移殖放流事業による保護区域について

鳥取県沖合底曳網漁業協会と、兵庫県機船底曳網漁業協会で、ずわいがに移殖放流区域における、ずわいがにの永続的な保護、増殖を図るため、保護区域、採捕期間について合意がなされ、覚書が取り交わされた旨の報告がなされました。

九月三十日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を県中労センターで開催

一、まんが漁業・板びき網漁業の正常化について

淡路地区、西播地区でこれらの漁業を操業する関係漁協の協議会の結果報告がされ、改正案を協議した結果、まんが漁業については桁の幅を内海全体で一本化していくことに、板びき網漁業については大阪湾での操業区域拡張問題は、神戸の関係漁協との協議がなされてから更めて検討することになりました。

二、棒こぎ網漁業（仮称）の問題点について

この漁業の漁具、操業方法等について県水産課と委員会事務局の現地調査の結果報告があり、問題点として従来の漁業と違った新しい漁業として取扱うかどうか、漁具の規制は必要か、他種漁業との競合はないか等について協議され、十月の委員協議会で更に検討し、方向づけをすることになりました。

番組のお知らせ

こちら海です

（放送予定）

毎週日曜日、正午より

サンTVで放送中

10月6日　兵庫県香住町

〈テーマ〉香住のみなさんありがとう〜ヘリースジャントPartII〜

昭和五十九年九月、インドネシアから漁業留学生として香住町へやって来た、ヘリー・スジャント君（27才）、留学期間が済み、この九月二十八日に帰国します。日本の進んだ漁業をインドネシアに帰って実用化したいというヘリー君の様子をお送りします。

10月20日　和歌山県印南町

〈テーマ〉印南祭とハエ縄

印南祭は印南川河口でのみこしの摂河で有名です。今回は九月から獅子舞いや屋台太鼓の練習にとり組む地元青年団にスポットをあてます。また、秋のハエ縄でのイトヨリ、鉄砲フグ漁も紹介します。

01月27日　福井県・九頭竜川

〈テーマ〉九頭竜川のサギリ漁と養殖

今、九頭竜川は、アユが産卵のため⅔以上が下流まで下がってきており、この頃に威網漁（オドシアミ）通称サギリ漁が始まります。今回はアユ漁の醍醐味、アユの生態、そのほかアユの人工飼育を紹介します。

漁協一代（その十五）

作花英治

戦後の混乱と復興

（三）—10

柴山港第一次改修1

駅の開業に続く復興のヒット第二号は運輸省所管避難港としての柴山港第一次改修であった。天然の良湾を成す柴山港に人工を改えなければ漁業の発展は期せられない……とは自分が復員帰郷第一日に浜辺に立って海を眺めたときに抱いた感懐であった（三三一号参照）あたかもよし柴山駅の開業はあと半年との見込みがついた。自分は先づ漁業会役員会で港湾改修の実現という大目標を設定し、貧乏村だからどうせトンネル予算しか作らない口佐津村役場ではあるが、制度上港湾行政機構の末端が町村であるから、せめて運動には村長を先頭に立てる作戦計画を策定した。

ここでいささか柴山港の沿革を述べることにする。

柴山という湾入は屈曲乏しい日本海沿岸線稀に見る天然の良港を成している。残念ながら有効水面五二ヘクタールが狭隘であるということである。しかし千石船のいわゆる和船時代、更に昔の幼稚な船の時代には結構広々とした湾入であったと言える。それなればこそ、口碑ではあるが古墳文化時代（西暦三〇〇年—五〇〇年）ヤマト政権が但馬の反体制派を鎮圧する際の派遣軍兵船が避難のため入港したという伝承がある程である。更に下って織豊時代（一五六一—一六〇〇）の初期織田、豊臣政権に対立した毛利政権の海路侵攻に備える兵船基地に利用、徳川幕府治下商業海運の勃興と共に、ようやく頻繁化した北前船の風待港に重視せられるに至った。寛文年間（一六六一—一六七二）江戸の政商河村瑞軒は幕命により陸奥国の年貢米を敏速かつ正確に江戸に廻漕する方策を調査研究し、その結果を幕府に献策、それが採用せられて寛文一一年（一六七一）はじめて東北沿岸から太平洋を経て江戸に至る安定航路が発足した（これは東廻り航路と公称せらる）幕府はこの成功に乗じて更に出羽国の幕領貢米をそれまでの津軽海峡を経て太平洋に出る等の方法に代え、日本海を西下し馬関海峡を通って瀬戸内海に入り蔵屋敷の所在する大坂に至る航路（これを西廻り航路と称す）の開発を瑞軒に命じ、彼は翌寛文十二年（一六七二）これを完成した。この西廻り航路の調査研究期間に瑞軒が柴山に直接やって来た形跡があるが、とにかく西廻り航路の公許により風向と天候によっては出羽の酒田袖ケ浦港を発した幕府貢米船は佐渡小木港—能登福浦浦を経て一気に柴山の港まで航走することが可能となり、又柴山から一気に石見国温泉津港に西行するため、柴山は福浦、温泉津中間必ず入港しなければならない港になったのである。よって幕府はやはり瑞軒の献策による船番所の設置を柴山の領収する出石藩主小出氏に命じ（現在の海上保安署と海運局を一つにした組織の役所）ている（一書によれば西廻り航路公許前の寛文四年・一六六四年に、入港船の実情から番所設置を命じたとある）実は柴山港は有史以来柴山の湾入全体を丹生の浦と呼ばれていて湾内更に湾を成す現在の沖浦泊地が荒天時船の碇泊を安全ならしめる海域であった。西廻り航路公許前から、丹生の浦の更に湾入部を利用する航海者は、柴山港外沖合から好箇の目標になる「柴山」と称する饅頭型の山（柴山港外東部の無南垣と訓谷を境する半島突端の山）を目標に接近、柴山を東に見て丹生の浦に入るのを例としたから「柴山の西方丹生の浦の泊地」のことをいつしか「柴山の港」と称するようになっていて、瑞軒調査の段階で、今の沖浦泊地は「柴山」の名称で通用していたのであろう。いづれにせよこの泊地は瑞軒により正式に柴山港と命名されたものと考えてよいと思う。

（次号に続く）

豊かで美しい海や川を！
それがみんなの願いです。

私たちの誓い

合成洗剤は

1　買わない

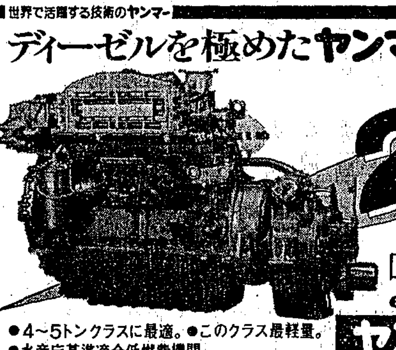
2　あげない

3　もらわない

兵庫県漁連・兵庫県漁婦連・漁協

世界で活躍する技術のヤンマー

ディーゼルを極めたヤンマーが贈る先進の24バルブ



新登場

6GH-DT　最大320ps/2300rpm・法馬力数90

●4〜5トンクラスに最適。●このクラス最軽量。
●水産庁基準適合低燃費機関

ヤンマーディーゼル

●カタログご希望の方は、本社・宣伝部く拓水係〉まで。

ヤンマーディーゼル株式会社